

の利用を想定した、多目的の広場として活用する方針で考えている。11、400㎡の土地を六年間で整備していく計画である。

質問 来年秋に予定される仙北市長選挙に再度挑戦する意思は。

答弁 「任期中最善を尽くす」ということである。各々が、市政運営の進捗の中で状況を判断して決断していくと思われる。私を含め各々の人がその時にならなければ答えは出ないと私は思っている。この先同じような質問があっても答弁は同じだ。

独自の子育て支援策を 広い範囲で支援していく



高久昭二

質問 仙北市の子育て支援は、他市町村と比べて特長的な施策が見受けられない。乳幼児医療費無料化制度について、他市町村では所得制限の一部緩和をしているが、仙北市はどうか。

次に一時保育や延長保育も含めて、対応する職員体制は整っているか。また待機児童はいないか。

い。

質問 要保護・準要保護児童生徒就学援助費について、給食費や教材費など未納者への対応が変わった。保護者の同意を得ないで、扶助費を学校長名義の口座に振り込み、教材費等の負担額を引き去りして、残額を保護者口座に振り込むという方式がとられた。保護者への説明によれば、「教育委員会と協議して変更した」とあるが、変更にあたっての経過を伺いたい。なお取り扱いが不正常であるなら当該保護者に返還すべきと思うがどうか。

中川児童館の老朽化が著しいが、今後改修等どのように考えているか。

答弁 仙北市は国、県市独自の補助を加えながら福祉、教育、健診など広い範囲で支援をしている。

所得制限について、市独自の補助として県の制限から外れた分について市で助成している。

保育事業については11時間の保育を行っており、それに対応できる職員体制を保っている。待機児童は、定数上の待機はいない。

中川児童館は現状を再度確認して対応を決めた。

質問 非正規職員の身分保障、待遇改善についてどのように考えているか。具体的に通勤費の実費支給、割増賃金による手当支給等は考えられないか。また正規職員化に向け、道を開くことはできないか。

扶助費は原則、保護者口座という規定である。ただし保護者の委任を受け、学校長が教材費等を引き去り後に、残額を保護者口座に振り込む方法もある。ご指摘はこの方式に切り替えた学校の例と思う。就学援助の趣旨や扶助の趣旨に則って、保護者に帰属することを原則に、返還も含め保護者と確認したい。

質問 仙北市の非正規職員283名の働きが、行政運営において大きなウエイトを占めているが、このことに対する市長の見解をうかがいたい。

非正規職員の身分保障、待遇改善についてどのように考えているか。具体的に通勤費の実費支給、割増賃金による手当支給等は考えられないか。また正規職員化に向け、道を開くことはできないか。

非正規職員の雇用は、「やむを得ざる」と「正規職員をあててお願ひしてきた。正規職員と似通った業務を遂行している非正規職員の処遇については、時間給の



楽しそうにお話している「だしの子園」の園児たち

質問 環境月間であり、今月の5日は環境の日でもある。環境問題は今大きくクローズアップされ、環境への関心が高まっているが、サミットを前に、月間中に、本市としての環境についての取り組みを伺います。

環境への取り組みは 常に意識し、すすめる



藤原方正

質問 7月7日を初日として、北海道洞爺湖サミットが始まる。

市民の皆様へ

今回の9月定例会は
9月中旬の予定です。
ぜひ傍聴に来てください。



答弁 仙北市として特に環境週間とか、